




代表質問通告書一覧（3月2日）

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める理事者
 <p>(17番) 山村 幸穂 (日本共産党)</p>	<p>1 戦後70年を迎えるにあたっての奈良からの平和の発信について</p> <p>平和と友好のさらなる発展のためにも、過去の歴史認識と平和につながる取組は重要であると考えているが、現在、東アジアの諸地域との交流に積極的に取り組まれている知事の考えを伺いたい。</p> <p>2 少子化対策について</p> <p>(1) 子育て支援のために、子どもの医療費助成制度を通院も中学校卒業までに拡充するとともに、医療機関での窓口負担の無料化を実施すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 政府による「労働者派遣法」や「労働基準法」の改正が検討されているが、県としてどう考えているのか。 また、県も若者の正規雇用を増やしていくため、これまでの対策に加え、新たな対策を実施する考えはないのか。</p> <p>3 安心できる介護サービスの実現について</p> <p>(1) 今回の介護報酬の引き下げについて、県はどのように考えているのか。 また、今後、地域包括ケアシステムを構築していくためには、身近な地域で提供される介護サービスを整備していく必要があると考えるがどうか。</p> <p>(2) 認知症が身近な国民的課題となる中、認知症になっても家族とともに在宅で安心して暮らし続けられるよう、県として認知症対策をどのように進めようとしているのか。</p> <p>4 国民健康保険について</p> <p>国民健康保険の保険料を引き下げるため、県として市町村への支援をすべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>健康福祉部長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(17番) 山村 幸穂 (日本共産党)</p>	<p>5 地域の力を活かした産業振興について</p> <p>奈良県らしい地域経済の発展のために、奈良県中小企業振興基本条例を活かして、中小零細企業を含め、頑張っているすべての企業や商店等による地域の資源を活かした魅力ある事業展開への支援を、県はどのように進めようと考えているのか。</p> <p>6 地方創生に向けた市町村のあり方について</p> <p>地方創生を進めるにあたっては、合併等の市町村集約化によらず、現在ある市町村が住民の身近なサービスを充実させ、地域の再生を図れるように取り組むことが重要と考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>
 <p>(43番) 梶川 虔二 (なら元気クラブ)</p>	<p>1 奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例について</p> <p>奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例の施行にあたり、その趣旨や内容等について、県民、市町村、事業所、医療機関等に対して、どのように周知、普及啓発に取り組んでいくのか。</p> <p>2 重症心身障害のある人に対する在宅支援について</p> <p>県として、重症心身障害のある人に対する在宅支援の充実を図るべきと考えるが、どのように取り組むのか。</p> <p>3 西和医療センターにおける医療体制の充実について</p> <p>西和医療センターは西和地区にはなくてはならない病院であり、いつまでも地域住民からの信頼に応えられる病院づくりを目指し、循環器の医療など、現在の病院の強みを活かして、さらに充実させるべきと考えるが、どうか。</p>	<p>知 事</p> <p>健康福祉部長</p> <p>医療政策部長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
(43番) 梶川 虔二 (なら元気ク ラブ)	4 病児保育の推進について 県内すべての市町村において、病児保育が実施されることが望ましいと考える。病児保育の実施主体は市町村であるが、西和地域をはじめ、病児保育が整備されていない地域において、県はどのように病児保育を推進していくのか。	知 事
	5 子どもの虐待における緊急時の対策について (1) こども家庭相談センターは、県民から子どもの虐待に関する情報を得た場合、直ちに現場に急行すべきと考えるが、現在の対応はどうなっているのか。 (2) 児童相談所全国共通ダイヤルが189番という3桁にされることから、通報の増加が予想され、こども家庭相談センターの役割はますます重要となる。こども家庭相談センターと警察が十分に協議し、緊急に対応すべき子ども虐待事案には、警察に出動を求めるなど機動的な対応ができるようにすべきと考えるが、どうか。	知 事
	6 有害鳥獣による農林業被害対策の効率化について ICT（情報通信技術）を活用した効率的な有害鳥獣捕獲システムが開発され、活用しているところもあるようであるが、県では有害鳥獣捕獲の効率化のために、今後、どのように取り組んでいくのか。	知 事
	7 大和川流域の治水対策について (1) 大和川の河川改修の一環として設置される大規模な遊水地について、現在の進捗状況を伺いたい。 (2) 遊水地設置事業における大阪府の負担について (3) 富雄川改修の現在の進捗状況と今後の予定について伺いたい。 (4) 三代川の河川改修の目途について伺いたい。	知 事 【要 望】 県土マネジメント 部 長 県土マネジメント 部 長

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める理事者
<p>(43番) 梶川 虔二 (なら元気クラブ)</p>	<p>8 公立小・中学校の統廃合問題について</p> <p>文部科学省は、平成27年1月に「公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を策定し、小学校で6クラス以下、中学校で3クラス以下の学校を統合の対象として検討すべきと示している。本県には、その対象となる小・中学校は何校あるのか。また、そのような学校に対して、どのような支援をしているのか。さらに、策定された手引も踏まえながらも、学校を統合せず存続させようとする市町村に対して支援をしてもらいたいと考えるが、県教育委員会では、今後、どのように対応するのか。</p>	<p>教 育 長</p>
	<p>1 若者の就労対策について</p> <p>若者が奈良県で就労し、働き続けることができるよう、県内への就労促進、定着支援に今後どのように取り組んでいこうと考えているのか。</p>	<p>知 事</p>
<p>(13番) 畷 真夕美 (公明党)</p>	<p>2 女性の就労対策について</p> <p>(1) 結婚・出産を契機に退職する女性が多いことから、就業継続や再就職しやすい環境づくりのため、ワーク・ライフ・バランスの推進が重要と考えるが、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 女性の起業に対する支援について、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>3 待機児童の解消について</p> <p>(1) 今年度中に策定することになっている「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン」において、待機児童の解消のための具体的な施策をどのように進めていくのか。また、県はどのような役割を果たしていくのか。</p> <p>(2) 待機児童の解消のためには保育士確保が重要であるが、どのように取り組んでいくのか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(13番) 畷 真夕美 (公明党)</p>	<p>4 農業・農村で活躍する女性の育成について</p> <p>農業の振興、六次産業化の推進に向け、農業・農村で活躍する女性の育成をどのように図っていくのか。</p>	<p>知 事</p>
	<p>5 女性の県職員が働きやすい環境づくりについて</p> <p>女性が働きやすい職場環境づくりを進めるためには、県が率先して取り組む必要があると考えており、女性の県職員が働きやすい環境づくりに向けて、どのように取り組んでいるのか。</p>	<p>総 務 部 長</p>
	<p>6 女性専用外来について</p> <p>県立医科大学附属病院における女性専用外来の取組状況について伺いたい。また、北和地域の高度医療拠点病院である奈良県総合医療センターにおいても設置すべきと考えるがどうか。</p>	<p>医療政策部長</p>
	<p>7 産前・産後のサポートについて</p> <p>女性が子どもを県内で安心して産み、育てるため、産前・産後における切れ目のないサポートが重要と考えるが、どのように進めていくのか。</p>	<p>医療政策部長</p>